【別紙】各案件に対するご意見等

案件　スタンプラリーイベントの実施案について

- 業者委託に異論はありませんが、提示された案に意見することができる機会を設けていただく必要があるかと存じます。
- 利用促進が確実に図られるよう、バス利用者のみが参加できるイベントとするための対策（バス車内でのスタンプ押印を必要とするなど）を行うことを条件として、承認いたします。
- 利用促進が確実に図られるよう、バス利用者のみが参加できるイベントとするための対策（バス車内でのスタンプ押印を必要とするなど）を行うことを条件として、承認いたします。
- ３周年イベントのブース出展はどなたが参加・運営されますか？応援等は必要ないでしょうか
- ３周年イベント実施日とデジタルスタンプラリーの期間が重なってないのは何か意図がありますでしょうか。(イベント来場者にスタンプラリーを宣伝して当日周ってもらえば効果的だと思うのですが)

案件　平日１日フリー乗車券の発売金額について

- 平時の片道 300 円以上区間の利用者がそのまま平日１日フリー乗車券へ移行した場合に、減収となり利用促進につながらないおそれがあるため、発売金額は収益性の高い 1,000 円にすべきと考えます。
- 平時の片道 300 円以上区間の利用者がそのまま平日１日フリー乗車券へ移行した場合に、減収となり利用促進につながらないおそれがあるため、発売金額は収益性の高い 1,000 円にすべきと考えます。
- 本券の継続販売を検討する場合に備え、利用促進効果や収支への影響を検証できるよう、必要なデータ収集手法について検討されたい。(フリー券利用者の利用区間・経路など)
- 本券の継続販売を検討する場合に備え、利用促進効果や収支への影響を検証できるよう、必要なデータ収集手法について検討されたい。(フリー券利用者の利用区間・経路など)
- 令和９年３月３１日までとすることが前提で承認いたします。令和８年度第２回活性化協議会で収支率が問題視されている現状に対し、逆行していくことになりかねない。今後は運賃改定の検討も必要だと考えます。
- 利用拡大が目的なので６００円が適切だと思います
- 利用促進の観点から、利用者にお得感のある価格設定が望ましいと考えるため、案の中で最も安価な①がよいと思います。
- 参考資料１では、６００円とする価格の妥当性を判断できません。
- 参考資料１では、６００円の収益性がないため、判断できません。